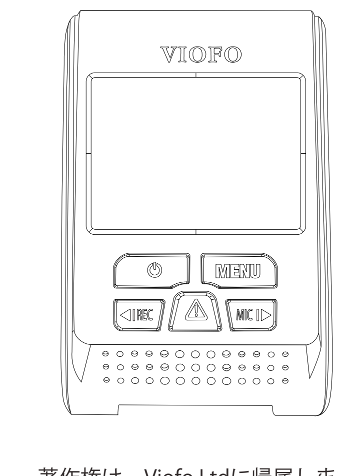
A119 S

取扱説明書



著作権は、Viofo Ltdに帰属します。

目次

注意事項 3

取り付け 4
オプション
取り付け方法
ヒント

ボタンと機能紹介 7
端子
LED
ボタン機能の説明

操作 11
電源オン
電源オフ
ループ録画
衝撃録画
動体検出
ビデオ再生
コンピュータに接続する
マイクをオン/オフにする
ファームウェアを更新

目次

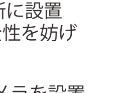
システム設定 14
ビデオ解像度
ループ録画
露出
WDR
インターバル撮影
動体検出
GPS
速度単位
Gセンサー
LDWS（車線逸脱お知らせ）
FCWS（先行車発進お知らせ）
プレートスタンプ
日付表示
GPS情報スタンプ
録画な音声
スクリーンセーバー
LED
日/時刻
タイムゾーン
言語
電子音
明滅の頻度
フォーマット
フォーマット警告
デフォルト設定
バージョン
ユーザー情報

注意

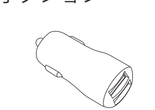
- 濡れた手でカメラを設置または操作しないでください。
- カメラを湿った場所や液体や可燃性ガスに近い場所に設置しないでください。カメラは運転者の視認性や安全性を妨げない場所に設置します。
- 車内の温度が高くなっている場合、安全の為にカメラを設置しないでください。
- 定格電圧を超える電源を使用しないでください。
- オリジナルの充電ケーブルのみを使用します。
- 製造業者は、本品付属の充電ケーブル以外を使用することにより生じた如何なる事故の責任も負いません。
- カメラや充電ケーブルを分解しないでください。生じた損害は保証の対象外となります。
- レンズを強く押さないでください。
- カメラや付属品の上に鋭利なものを使用しないでください。
- カメラの録画中または電源オフ中は、ファイルの損傷を防ぐためにMicro SDカードを取り出さないでください。
- Class 10のMicro SD カードを使用することをお勧めします。容量は8GB以上（最大サポート容量は128G）を推奨します。
- 初めて使用される場合、事前にmicroSDカードをフォーマットしてからお使いください。
- ファームウェアの更新中は電源を切らないでください。
- 本マニュアルに記載の製品機能および内容は、変更となる場合がございます。

取り付け

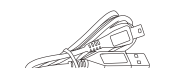
オプション



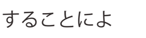
カーチャージャー



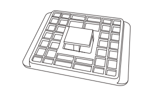
USBケーブル



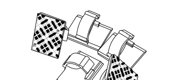
GPSモジュール



非GPSモジュール



クリップ

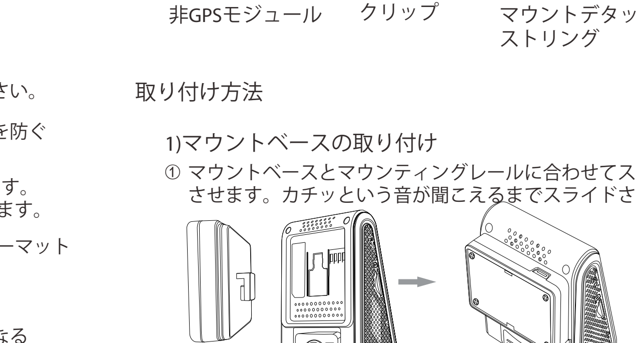


マウントデタッチングストリング

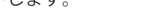
取り付け方法

1)マウントベースの取り付け

① マウントベースとマウンティングレールに合わせてスライドさせます。カチッという音が聞こえるまでスライドさせます。



② 3M両面テープから保護シールをはがします。



③ マウントベースのフィルムをはがして、レンズ角度を調整します。

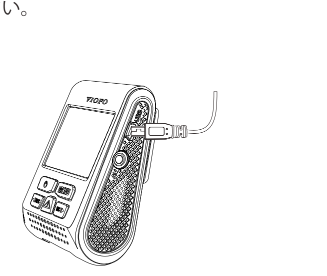
2) 電源接続

車両の12 V/24 VソケットにUSB電源アダプタを差し込みます。USBケーブルのプラグをカメラのUSB端子に差し込みます。

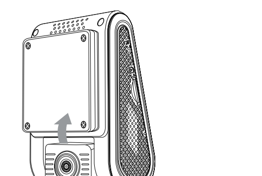
注意：

① GPSモジュールの場合は、マウントのUSBポートにUSB端子を差し込んでください。

② 非GPSモジュールの場合は、ドライブレコーダーのミニUSB端子を充電してください。



3) レンズを調整する



ヒント:

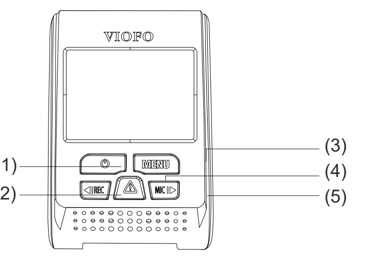
- 動体検知機能は駐車監視にのみ推奨され、運転中に「動体検知」機能がオンにすると、常時録画できない場合もあります。
- 本機が録画モードの時、衝撃力を測定するとループ録画の対象にならないようにファイルが自動的にロックされます。低く設定することをお勧めします。
- 録画を見やすくするために、バックミラーの近くにレコーダーを取り付けます。
- 雨天時にはっきりと見えるように、フロントガラス用ワイパーの可動範囲に製品を取り付けてください。
- レコーダーをエアバッグパネルの上または近くに設置しないでください。
- 車両のリアガラスにサンバイザーが取り付けられている場合は、サンバイザーの使用によってレコーダーが影響を受けない位置を選択する必要があります。カメラの近くに他の電子機器を取り付けないでください。

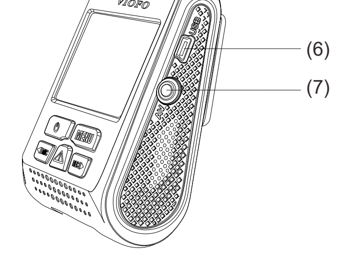
注意：

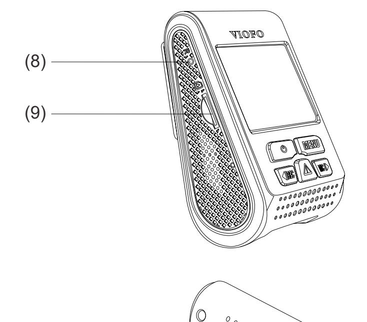
カメラやケーブルをエアバッグパネルの近くやエアバッグの動作範囲内に取り付けないでください。製造者は、エアバッグの展開によって引き起こされたいかなる怪我または死亡に対しても責任を負いません。

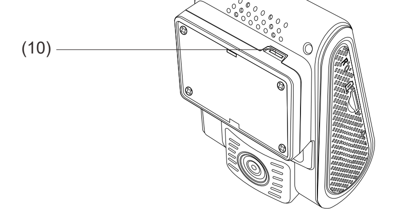
ボタンと機能紹介

端子









(1) 電源 (2) 録音/左 (3)メニュー (4) 緊急/確認
(5) マイク/右 (6) ミニUSB端子(7) AV出力(8) リセット
(9) Micro SDカードスロット (10) USB端子

LED

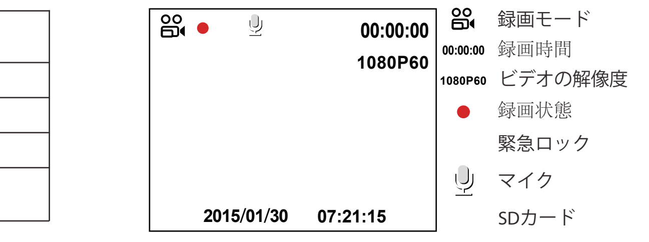
LEDカラー	操作
赤く点灯	電源オン、録画中
赤く点滅	1.電源オン、スタンバイ 2.アップグレード

ボタンとアイコン

モード	ボタン	操作
スタンバイモード	⏻	電源オン/オフ
	MENU	メニューに入る
	⚠	プレイリストに入る
	◁REC	録画を開始
	MIC▷	録音をオフ/録音をオン
ビデオモード	⏻	スクリーンを閉じる/開く
	MENU	写真を撮ります
	⚠	録画中のファイルをロック
	◁REC	録画を停止/開始
	MIC▷	録音をオフ/オン

プレイリストモード	⏻	電源オン/オフ
	MENU	前のデータへ戻る
	◁REC	1.最後のビデオを選択 2.ビデオを削除
	MIC▷	1.次のビデオを選択 2.ビデオをロック/ロック解除
	⚠	1.選択したビデオを再生する 2.ビデオの再生/一時停止

メニューモード設定	⏻	スクリーンを開く
	MENU	録画モードに戻る
	◁REC	最後の機能を選択
	MIC▷	次の機能を選択
	⚠	機能選択に入る



取り付け

1)電源オン

MicroSDカードをカメラのカードスロットに挿入します。車をレコーダーのミニUSB端子と車のシガーライターに接続します。エンジンをオンにすると、装置は自動的にオンになります。

① 自動:ドライブレコーダーの電源が入ったら、エンジンを切るか充電ケーブルを抜くだけで、カメラの電源が自動的オフになります。

② 手動:エンジンがオフになった後も12V / 24Vの電源コンセントを使用して連続電力を供給する場合は、カメラを手動でオフにする必要があります。

③ カメラの電源が入っているときに、電源ボタンをカメラの電源を切るには5秒以上かかります。

④ 電源ボタンを3秒以上押して電源を入れます。カメラがオンになりました。

3)ループ録画

① micro SDカードが挿入されたレコーダーが電源に接続されると、ループ録画が自動的に開始されます。

② 録画時間(ファイル生成時間) を「1/2/3/5/10」分から選択できます。

③ＳＤカードの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きされていくので、途中で録画が停止することはありません。

④ ループ録画ファイルはSDカードに保存されます。
\DCIM \ MOVIEフォルダ

4)衝撃録画

① 自動緊急録画

録画中に衝撃を感知すると、自動で録画しているファイルをロックします。ロックされたファイルは上書きされません。

(衝突感度はメニュー設定 - >「衝撃感度」オプションで調整できます。)

② 手動緊急録画

録画中に[⚠]ボタンを押すと、現在録画中のファイルがロックされます。ロックされると、ファイルは上書きされません。

5)動体検知

動体検知：オンにすると、レコーダーの正面に動きがあった場合、自動的に録画を開始します。動体検知中、60秒間動きを検知しなかった場合、録画が停止し動体検知モードに入ります。新しい動作が検出されると、レコーダーは再度録画を開始します。

6)ビデオ再生

①スタンバイモード（録画されていない状態）で、[⚠]ボタンを押してプレイリストに入ります。
②矢印キー[◀REC MIC▶]を使って希望のビデオを選択し、
[⚠]ボタンを押して再生します。
③[☰]ボタンを押して終了します。

7)コンピュータでビデオを再生する

①付属のミニUSBケーブルを使って、レコーダーをコンピューターに接続します。
② レコーダーの電源がONになり、画面に「SDカードリーダーモード」が表示されます。
③ 自動的にリムーバブルディスクとして認識されます。
DCIMフォルダは2つのフォルダがあります。
Movie(ループ録画ビデオファイル)
サブフォルダが含まれています：
EMR(保護された/ロックされたビデオファイル)
Picture(映像写真)

8) マイクをオン/オフ

[MIC▶]ボタンを押して、マイク機能をオンまたはオフにします。

9) ファームウェアを更新

① 最新のファームウェアをダウンロードしてファイルを展開します。binファイルをMicro SDカードに移動してください。

② 転送が完了したら、Micro SDカードをカードスロットに挿入します。

③ ドライブレコーダーの電源をオンにしてください。

④ 更新の進行状況をLEDランプの点滅状態で確認できます。

⑤ 更新後、カメラは自動的にオンにします。

⑥ 現在インストールされているファームウェアのバージョンをメニューで確認できます。

注意：

ファームウェアを更新する前に、レコーダーでメモリカードをフォーマットすることをお勧めします。
- ファームウェアを更新する際、レコーダーの電源は切らないでください。更新に失敗し、起動できなくなる場合があります。

システム設定

ビデオモードでメニューボタンを押してシステム設定ができます。

- 解像度: 録画したビデオの解像度を設定します。解像度: 1920x1080P 60fps, 1920x1080P 30fps, 1280x720P 120fps, 1280x720P 60fps, 1280x720P 30fps,
- ループ録画: 録画時間(ファイル生成時間) を「1/2/3/5/10」分から選択できます。

露出: 映像の明るさ（光量調節）を調節できます。露出値は-2.0から+2.0の範囲です。フロントカメラとリアカメラの露出値は別々に調整できます。デフォルト設定は0.0です。

- WDR: WDRをオンにすると、白とびや黒つぶれを録画データを記録することができます。
- インターバル撮影: 低フレームレートでビデオを録画すると、メモリを節約し、ビデオの再生にかかる時間を短縮できます。デフォルト設定はオフです。
- 動体検知：オンにすると、レコーダーの正面に動きがあった場合、自動的に録画を開始します。動体検知中、60秒間動きを検知しなかった場合、録画が停止し動体検知モードに入ります。新しい動作が検出されると、レコーダーは再度録画を開始します。
- GPS:GPS機能のオン/オフを切り替えます。GPSモジュールは、車速と位置情報を記録するために使用されます。オフするとき、レコーダーは車両の速度と位置を記録せず、日時を自動的に同期しません。ビデオを再生し、GPSの軌跡と速度を表示する場合、「Dashcam Viewer」プレーヤーを使用してください。
- 速度単位：キロメートル/時（KMH）とマイル/時（MPH）。
- Gセンサー：Gセンサーは衝撃力を測定し、ループ録画の対象にならないようにファイルが自動的にロックされます。低く設定することをお勧めします。

- LDWS（車線逸脱お知らせ）：高速道路で車が車線から出て行くと、LDWSは警報音でお知らせします。
- FCWS（先行車発進お知らせ）：車両が前方の車両にどんどん近づくと、FCWSは警報音でお知らせします。
- プレートスタンプ：11桁のカスタマイズされたセットを録画したビデオ。ナンバープレートの追加や識別ができます。
- 日付表示：録画したビデオに時刻と日付を表示します。
- GPS情報スタンプ：録画したビデオにGPS情報を表示します。
- 録画な音声：マイクのオン/オフを切り替えます。録音中にマイクボタン[MIC▶]を押してマイクのオン/オフ変更ができます。
- スクリーンセーバー：何の操作も行わないと3分後にデフォルトで画面が黒くなります。
- LED：LEDのオン/オフを切り替えます。
- 日/時刻：システムの日付/時刻を設定します
- タイムゾーン：現在のエリアタイムゾーンを設定します。注意：手動で夏時間を調整しなければなりません。（日本GMT+9:00）
- 言語：各種言語に変更可能です。(英語、中国語、フランス語、日本語など)
- 電子音：ボタンの音と電源オンの音をオンまたはオフにします。
- 明滅の頻度：地域の使用電圧に応じて周波数を調整してください。（東日本50Hz／西日本60Hz）
- フォーマット：Micro SDカードのすべてのデータを削除します。注意：カードをフォーマットした後、すべての情報が削除され、回復することはできません。フォーマットする前に、必要なファイルをすべてバックアップしてください。

- フォーマット警告：フォーマットリマインダーの間隔を設定します。
- デフォルト設定：デバイスを出荷時設定に復元します。
- ナンバープレート：録画したビデオに車番号を表示します。
- ユーザー情報：ユーザー情報をビデオで表示します。
- バージョン：レコーダーの現在のファームウェアバージョンを表示します。

カスタマーサービス

会社概要 https://www.viofo.com/

カスタマーサービス
12ケ月保証
生涯技術サポート
Support@viofo.com
www.facebook.com/viofo.world
+86 755 8526 8909（CN）
営業時間：月曜日から金曜日の午前9時から午後6時まで